



SNMP V1/V2c の設定

この章では、ネットワーク管理システムが Cisco CallManager をモニタできるように SNMP バージョン 1 および 2c を設定する方法を説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [SNMP コミュニティストリングの設定 \(P.16-2\)](#)
- [SNMP 通知先の設定 \(V1/V2c\) \(P.16-4\)](#)



ヒント

SNMP バージョン 3 を使用する場合は、[P.17-1](#) の「[SNMP V3 の設定](#)」を参照してください。

SNMP コミュニティ スtring の設定

SNMP エージェントはコミュニティ スtring を使用してセキュリティを提供するので、Cisco CallManager システムで、管理情報ベース (MIB) にアクセスするためのコミュニティ スtring を設定する必要があります。Cisco CallManager システムへのアクセスを制限するには、コミュニティ スtring を変更してください。コミュニティ スtring を追加、変更、削除するには、SNMP Community String 設定ウィンドウにアクセスします。

手順

-
- ステップ 1** Snmp > V1/V2c Configuration > Community String の順に選択します。
- ステップ 2** Servers ドロップダウンリスト ボックスから、コミュニティ スtring を設定する対象のサーバを選択します。
- ステップ 3** 次のいずれかの操作を実行します。
- 新しいコミュニティ スtring を追加する場合は、**Add New** ボタンをクリックし、**ステップ 4** に進みます。
 - 既存のコミュニティ スtring を変更する場合は、編集するコミュニティ スtring の名前をクリックし、**ステップ 5** に進みます。
 - コミュニティ スtring を削除する場合は、削除するコミュニティ スtring (複数可) の横のチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックします。システムがこのコミュニティ スtring に関連する通知エントリを削除することを示すメッセージが表示されます。削除を続行するには、**OK** をクリックし、**ステップ 9** に進みます。
- ステップ 4** Community String Name フィールドに、コミュニティ スtring の名前を入力します。名前には、英数字、ハイフン (-)、アンダースコア (_) の任意の組み合わせで、最大 32 文字を指定できます。



ヒント 外部者にわかりにくいコミュニティ スtring 名を選択してください。

- ステップ 5** Host IP Addresses Information グループ ボックスで、SNMP パケットの送信元のホストを指定します。次のいずれかのオプションをクリックします。
- すべてのホストから SNMP パケットを受信する場合は、**Accept SNMP Packets from any host** オプション ボタンをクリックします。
 - 指定したホストからのみ SNMP パケットを受信する場合は、**Accept SNMP Packets only from these hosts** オプション ボタンをクリックします。Host IP Address フィールドに、パケットの送信元のホストを入力し、**Insert** をクリックします。パケットの送信元のホストごとに、このプロセスを繰り返します。ホストを削除するには、Host IP Addresses リスト ボックスからホストを選択し、**Remove** をクリックします。
- ステップ 6** Access Privileges ドロップダウン リスト ボックスから、次に示す適切なアクセス レベルを選択します。
- ReadOnly : コミュニティ スtring は、MIB オブジェクト値の読み取りのみが可能です。
 - ReadWrite : コミュニティ スtring は、MIB オブジェクト値の読み取りと書き込みが可能です。
 - ReadWriteNotify : コミュニティ スtring は、MIB オブジェクト値の読み取りと書き込みに加えて、MIB オブジェクト値のトラップおよび通知メッセージの送信が可能です。

- **NotifyOnly** : コミュニティストリングは、MIB オブジェクト値のトラップおよび通知メッセージの送信のみが可能です。
- **None** : コミュニティストリングは、読み取り、書き込み、トラップ情報送信のいずれも不可能です。



(注) Cisco CallManager トラップの設定パラメータを変更するには、**NotifyOnly** 特権または **ReadWriteNotify** 特権を持つコミュニティを使用する必要があります。

ステップ 7 コミュニティストリングをクラスタ内のすべてのサーバに適用するには、**Apply To All Nodes** チェックボックスをオンにします。

ステップ 8 **Insert** をクリックして新しいコミュニティストリングを保存するか、**Save** をクリックして既存のコミュニティストリングへの変更を保存します。

ステップ 9 SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、**Cancel** をクリックします。SNMP マスター エージェントサービスを再起動するには、**OK** をクリックします。



(注) すべての SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェントサービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、[P.2-1 の「サービスの管理」](#)を参照してください。

SNMP Community String Configuration ウィンドウの表示が更新されます。作成したコミュニティストリングがウィンドウに表示されます。


追加情報

[P.16-6 の「関連項目」](#)を参照してください。

SNMP 通知先の設定 (V1/V2c)

通知先 (トラップ / 通知の受信者) を設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** **Snm > V1/V2c Configuration > Notification Destination** の順に選択します。
- ステップ 2** Server ドロップダウン リスト ボックスから、通知先を設定する対象のサーバを選択します。
- ステップ 3** 次のいずれかの操作を実行します。
- 新しい SNMP 通知先を追加する場合は、**Add New** ボタンをクリックし、[ステップ 4](#) に進みます。
 - 既存の SNMP 通知先を変更する場合は、編集する SNMP 通知先の名前をクリックし、[ステップ 5](#) に進みます。
 - SNMP 通知先を削除する場合は、削除する SNMP 通知先 (複数可) の横のチェックボックスをチェックし、**Delete Selected** をクリックします。[ステップ 11](#) に進みます。
- ステップ 4** Host IP Addresses ドロップダウン リスト ボックスから、トラップ宛先の Host IP アドレスを選択するか、Add New を選択します。Add New を選択した場合は、IP アドレスを入力します。
- ステップ 5** Port Number フィールドに、SNMP パケットを受信する通知先サーバが通知を受信するポート番号を入力します。
- ステップ 6** SNMP Version Information Group ペインで、該当する SNMP バージョンのオプション ボタンである V1 または V2C のいずれか (使用する SNMP のバージョンによって異なる) をクリックします。
- V1 を選択した場合は、[ステップ 8](#) に進みます。V2C を選択した場合は、[ステップ 7](#) に進みます。
- ステップ 7** Notification Type ドロップダウン リスト ボックスから、適切な通知タイプを選択します。
- ステップ 8** Community String ドロップダウン リスト ボックスから、このホストが生成する通知メッセージで使用するコミュニティ名を選択します。
-
- ヒント**  最下位の通知特権 (ReadWriteNotify または Notify Only) を持つコミュニティ スtring のみが表示されます。このような特権を持つコミュニティ スtring を設定していない場合、ドロップダウン リスト ボックスにオプションは表示されません。必要に応じて **Create New** ボタンをクリックし、コミュニティ スtring を作成します。コミュニティ スtring を作成する方法については、[P.16-2](#) の「[SNMP コミュニティ スtring の設定](#)」を参照してください。
-
- ステップ 9** クラスタ内のすべてのノードに通知先を適用するには、**Apply To All Nodes** チェックボックスをオンにします。
- ステップ 10** **Insert** をクリックして通知先を保存するか、**Save** をクリックして既存の通知先への変更を保存します。

ステップ 11 SNMP マスター エージェントを再起動するまで変更が有効にならないことを示すメッセージが表示されます。SNMP マスター エージェントを再起動せずに設定を続行するには、**Cancel** をクリックします。SNMP マスター エージェントを再起動するには、**OK** をクリックします。



(注) SNMP 設定が終了するのを待ってから、SNMP マスター エージェント サービスを再起動することをお勧めします。サービスを再起動する方法については、[P.2-1](#) の「サービスの管理」を参照してください。

追加情報

[P.16-6](#) の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [SNMP コミュニティ ストリング の設定 \(P.16-2\)](#)
- [SNMP V3 の設定 \(P.17-1\)](#)
- [MIB2 システム グループ の設定 \(P.18-1\)](#)
- 『*Cisco CallManager Serviceability システム ガイド*』の「SNMP」
- [SNMP 通知先 の設定 \(V1/V2c\) \(P.16-4\)](#)